



ひと まち 自然がきらめく 共生の郷 佐用

みなさんと議会を結ぶ情報誌

議会だより

第35号

平成27年2月5日発行

さ よ う



笑顔いっぱい

も
く
じ

- ・新しい議場にかわりました 2
- ・第63回定例会 3~7
- ・第62回臨時会 8~9
- ・佐用町のここが聞きたい 10~17
- ・組合議会報告、研修報告 18~19
- ・第1回議会報告会を開催します 20

新しい議場にかわりました

お気軽に傍聴ください

庁舎増築工事に伴い議場が新しくなり、12月定例会から使用しています。

議会のある3階フロアは、議場、委員会室、議員控室、正副議長室、監査委員室兼図書室、議員ロッカー室、事務室からなり、傍聴席には車イス用スペースを2席設けています。

定例会はどなたでも傍聴できます。間近で議員のやり取りをご覧ください。また、傍聴用イヤホンを用意していますので、必要な方は議会事務局へお申し出ください。

イヤホン

傍聴席入口スロープ

傍聴席

傍聴受付箱

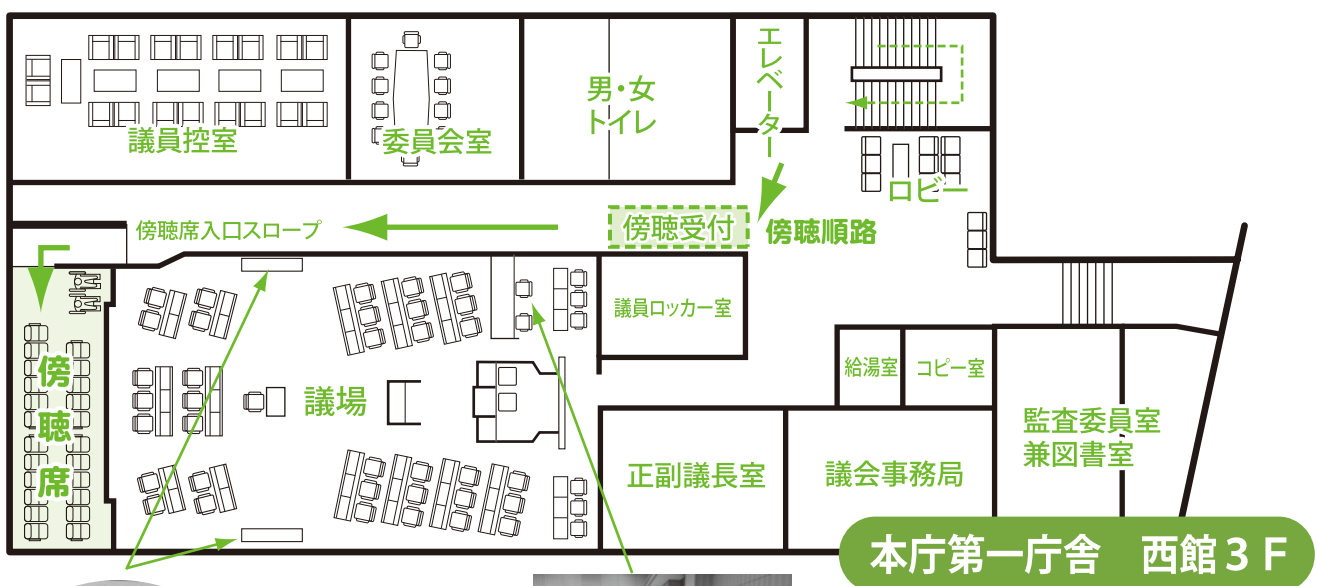
傍聴申込カードを入れる受付箱

議員控室

ロビー

傍聴のしかた

傍聴受付で傍聴申込カードに住所・氏名・年齢を記入し、傍聴受付箱へ投入してから傍聴席へお入りください。



モニター

出席議員数と一般質問発言残時間を表示します

音響・映像機器

マイクとカメラ操作をパソコンのタッチパネルで行います

地域の均衡ある発展と、住民福祉の向上を目的に

「新町まちづくり計画」期間の延長・財政計画の変更

(計画期間 平成17年度～32年度)

第63回定例会は、新しくなった議場で12月8日から22日までの15日間の会期で開かれました。

今回は、新町まちづくり計画の変更、一般会計及び9特別会計補正予算など29件が提案され、すべて原案どおり可決しました。一般質問は7人の議員が登壇し、活発な議論を展開しました。

議決案件

旧町の速やかな一本化を目指して

■新町まちづくり計画の変更

合併市町村に係る地方債の特例に関する法律が改正され、合併特例債を活用できる期間が5年間延長されたことに伴い、まちづくり計画を変更しました。

■工事請負契約の変更

上月・久崎・幕山保育園統合に伴う上月地域保育園新築工事請負変更契約を締結しました。

・契約先 (株)春名建設
・変更後契約額 2億7307万3680円



▲ 建設中の保育園(上月地域)

農作業の効率化と支援！

■字区域及び名称の変更

延吉地区ほ場整備事業の換地処分に伴い、字の区域及び名称を変更しました。

■農作物・畑作物・園芸施設共済の無事戻し金の交付

水稲、麦、大豆、ピープルハウス共済加入者に対する平成26年度無事戻し金の交付を決定しました。

生活道路の安全を！

■町道路線の廃止

佐用川河川改修事業に伴い笹ヶ丘支線他1路線を廃止しました。

■町道路線の認定

佐用川河川改修事業に伴い上町塔ノ元支線他3路線を認定しました。

■町道路線の変更

佐用川河川改修事業に伴い栄町中川原町線他19路線を変更しました。

保育の実施基準緩和に向けて

■保育の必要性の認定に

関する条例制定
■保育園条例の一部改正

平成27年4月より子ども・子育て支援法が施行されることに伴い、保育の必要性を認定する基準を条例化し、現行の保育の実施基準を一部変更しました。

出産育児一時金の見直し

■国民健康保険条例の一部改正

産科医療保障制度の見直しと併せて出産育児一時金の金額を見直ししました。



▲ 町道認定された平福川端線

社会保障・税番号制度システム整備委託料等

平成26年度補正予算を可決

一般会計は1億6731万9千円の増額



▲ 上月小学校

改正に伴い引用条項を改正しました。

□町福祉医療費助成条例の一部改正

・新たな住所
佐用町上月
861番地

設置する新小学校の住所を定めました。

□地方教育行政の組織及

教育行政制度の改革

次代の社会を担う子どもの健全な育成を図るための次世代育成支援対策推進法等の改正に伴い、引用条項を改正しました。

□町消防団員等公務災害補償条例の一部改正

公務災害補償の改正

び運営に関する法律の改正に伴う関係条例の整備
教育委員長と教育長を一本化した新たな責任者（新教育長）を置くなど関係条例を整備しました。

上月小学校の新たな住所

□町立学校設置条例の一部改正

幕山小学校、上月小学校及び久崎小学校を閉校し、上月地域に

補正予算

施策の推進に向けて

一般会計

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億6731万9千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ133億3934万4千円としました。

反対討論

平岡きぬゑ 議員

総務管理費や特別会計へ繰り出された、社会保障・番号制度システム整備にかかわる予算は、犯罪への対策が示されず、徴税強化や社会保障給付の削減の手段とされかねないもので、現に米国や韓国では、見直しが迫られている。

賛成討論

石堂 基 議員

この補正予算では、国民健康保険特別会計や後



▲ 社会保障・税番号制度システムの整備

特別会計

□国民健康保険

社会保障・税番号制度システム整備委託料及び保険給付費等で1億3557万2千円を追加しました。

賛成討論

金谷英志 議員

社会保障・税番号制度

期高齢者医療特別会計に対する繰出金7800万円が予定されており、この予算を止めることにより今後の医療給付に支障をきたす懸念も非常にある。それぞれの保険に加入されている住民のみなさんが、安心して医療給付を受けられる立場を守る観点から本議案に賛成する。

システムは、申請書類の簡素化・給付の調整・ミットがあることと導入されるが、他の制度との調整については、転居がない場合ほとんど役場の中で書類は揃い、システムは必要ない。しかし、この補正予算には、一般被保険者療養給付費9700万円、高額療養費2000万円などの増額を含んでおり、先の問題点を指摘して賛成する。

賛成討論

石堂 基 議員

今回の補正予算では、2月までの医療費不足見込み額に対して、一般会計からの法定外繰入金6700万円を予定している。この案を否決することとは、医療給付費の不足が懸念されるばかりでなく、加入者のみなさんに大きな不安をもたらすこととなるので、本議案に賛成する。

□後期高齢者医療

社会保障・税番号制度システム整備委託等で207万3千円を追加しました。

反対討論

平岡きぬる 議員

社会保障・税番号制度システム整備事業は、一般会計補正予算の反対理由と同じく、施行後3年をめどに使途拡大を検討しているもので、具体的なメリットも費用対効果も示されないまま住民負担が求められ続ける等、導入する必要性のないものであり反対する。

□介護保険

社会保障・税番号制度システム整備委託料及び保険給付費等で269万6千円を追加しました。

□朝霧園

施設修繕・備品購入で120万円を追加しました。

□簡易水道事業

電算システム開発委託料等で82万円を追加しました。

□西はりま天文台公園

電話交換機設備の更新及びシルバースクリーンなどの備品購入等で665万9千円を追加しました。

□歯科保健

歯科医師報酬を減額し、滅菌消毒器の購入費を追加しました。

□農業共済事業

農作物・畑作物・園芸施設共済の無事戻し金244万9千円を追加しました。

□石井財産区

予備費として97万1千円を追加しました。

承認

□専決処分の承認

請願

第47回衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査に係る経費の専決処分を承認しました。

公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会から「手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書」が紹介議員を介して本会議に提出され、全会一致で採択しました。

発議

請願の採択を受け、議員発議による「手話言語法の制定を求める意見書」を可決し、国の関係機関へ意見書を提出しました。

同意

任期満了に伴う教育委員会委員の任命について同意しました。

塚崎博行氏（三日月）

第63回（12月）定例会 一般会計補正予算の主なもの

（単位：千円）

予算費目(款)	補正額	主たる要因
総務費	20,081	社会保障・税番号システム整備委託料
	5,787	情報通信施設工事請負金
民生費	71,485	国民健康保険特別会計繰出金
	7,310	通園用バス車両購入費
	13,000	上月保育園厨房備品費
衛生費	△ 14,589	簡易水道事業特別会計繰出金
農林水産業費	2,837	森林整備地域活動支援交付金
商工費	700	県河川改修事業に伴う笹ヶ丘公園整備工事費
土木費	8,000	河川工事請負金
教育費	6,258	学校規模適正化事業に伴う制服等購入費助成金
災害復旧費	6,500	農林水産施設災害復旧費

第63回（12月）定例会 補正予算額（歳入）

（単位：千円）

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	167,319	13,339,344
特別会計	国民健康保険	135,572
	後期高齢者医療	2,073
	介護保険	2,696
	朝霧園	1,200
	簡易水道事業	820
	西はりま天文台公園	6,659
	歯科保健	※支出区分のみ変更 0
	農業共済事業	2,449
石井財産区	971	4,621

第63回(12月)定例会 こんなことが決まりました

※印は各常任委員会に付託され、委員会で審査した案件

議案番号	件 名	審 議 結 果	
発議第 5号	「手話言語法」制定を求める意見書(案)	賛成全員	採択
承認第 15号	専決処分の承認(平成26年度佐用町一般会計補正予算第5号 専決第16号)	賛成全員	承認
議案第 86号	新町まちづくり計画の変更 ※	賛成全員	可決
議案第 87号	工事請負契約の変更(仮称)上月地域保育園新築工事)	賛成全員	可決
議案第 88号	字区域及び名称の変更	賛成全員	可決
議案第 89号	農作物共済無事戻し金の交付	賛成全員	可決
議案第 90号	畑作物共済無事戻し金の交付	賛成全員	可決
議案第 91号	園芸施設共済無事戻し金の交付	賛成全員	可決
議案第 92号	町道路線の廃止 ※	賛成全員	可決
議案第 93号	町道路線の認定 ※	賛成全員	可決
議案第 94号	町道路線の変更 ※	賛成全員	可決
議案第 95号	佐用町保育の必要性の認定に関する条例の制定 ※	賛成全員	可決
議案第 96号	佐用町保育園条例の一部を改正する条例 ※	賛成全員	可決
議案第 97号	佐用町国民健康保険条例の一部を改正する条例 ※	賛成全員	可決
議案第 98号	佐用町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	賛成全員	可決
議案第 99号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例 ※	賛成全員	可決
議案第 100号	佐用町立学校設置条例の一部を改正する条例	賛成全員	可決
議案第 101号	平成26年度佐用町一般会計補正予算案(第6号)	賛成多数 反対 金谷議員、平岡議員	可決
議案第 102号	平成26年度佐用町国民健康保険特別会計補正予算案(第2号)	賛成全員	可決
議案第 103号	平成26年度佐用町後期高齢者医療特別会計補正予算案(第2号)	賛成多数 反対 金谷議員、平岡議員	可決
議案第 104号	平成26年度佐用町介護保険特別会計補正予算案(第3号)	賛成全員	可決
議案第 105号	平成26年度佐用町朝霧園特別会計補正予算案(第3号)	賛成全員	可決
議案第 106号	平成26年度佐用町簡易水道事業特別会計補正予算案(第2号)	賛成全員	可決
議案第 107号	平成26年度佐用町西はりま天文台公園特別会計補正予算案(第3号)	賛成全員	可決
議案第 108号	平成26年度佐用町歯科保健特別会計補正予算案(第2号)	賛成全員	可決
議案第 109号	平成26年度佐用町農業共済事業特別会計補正予算案(第3号)	賛成全員	可決
議案第 110号	平成26年度佐用町石井財産区特別会計補正予算案(第1号)	賛成全員	可決
議案第 111号	佐用町福祉医療費助成条例の一部を改正する条例	賛成全員	可決
同意第 7号	佐用町教育委員会委員の任命同意	賛成全員	同意
請願第 4号	手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書	賛成全員	採択

ことばの解説

- 発議 議員から議案を提出することをいいます。
- 意見書 町では対応できない重要な事項について、議会としての考えや意思を意見としてまとめた文書のことをいいます。各議員から提出された意見書案は、本会議で可決されたのち、地方自治法(第99条)に基づき意見書として国等の関係機関へ提出します。
- 専決処分 議会の議決または決定すべき問題のうち、急を要する問題などを、町長が議会に代わって意思決定することをいいます。町長が専決処分を行った場合は、直近に開かれる議会に報告し、承認を求めなければなりません。
- 議案 議会の議決を求めるために議長に提出する案件のことをいいます。議案は町長と議員のどちらからでも提出することができますが、議員は予算の議案を提出することはできません。
- 議決 議会の最も基本的・中心的な権限で、個々の議員の議案に対する賛成か反対の意思表示による議会の意思決定のことを議決といいます。可決するには、出席議員の過半数が原則となります。議案の内容により可決、否決、承認、認定、同意、採択、不採択などの呼び名があります。
- 請願 議会に対し、町の仕事に関することや地域の身近な問題について、文書で希望を述べることをいいます。請願には必ずその請願内容の趣旨に賛同する紹介議員の署名が必要です。なお、議員の紹介のないものを陳情といいます。

12月定例会付託 案件審査

総務常任委員会

委員長 小林裕和

12/9

新町まちづくり計画 の変更

旧4町の速やかな一本化を促進し、地域の均衡ある発展と住民福祉の向上を図ることを目的として、合併市町村に係る地方債の特例に関する法律の一部を改正する法律が施行され、合併特例債を活用できる期間が5年間

延長されたため、10年間の当初計画を15年間に変更し、平成33年3月31日まで延長するため。

結果 全員賛成原案可決

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

新教育長は、議会の同意を得て特別職の身分として地方公共団体の長が任命する。新教育長が、教育行政に大きな権限と責任を有することになり、教育委員会委員によるチェック機能を強化する。

新教育長は、議会の同意を得て特別職の身分として地方公共団体の長が任命する。新教育長が、教育行政に大きな権限と責任を有することになり、教育委員会委員によるチェック機能を強化する。



▲ 新町まちづくり計画

町道路線の認定

上町塔ノ元支線及び大成支線、山平川端線、平福川端線の4路線で、いずれも佐用川河川改修事業により整備される河川管理道路を、周辺地域の要望もあり町道に認定するものです。

結果 全員賛成原案可決

町道路線の変更

栄町中川原町線など20路線で、それぞれ河川改修事業により起点または終点を変更するものです。なお、現地調査において、変更路線から河川道路への取付工事によって、車両等の通行で危険と思われる箇所があったため、これの対策を要請しました。

12/10

委員長 石堂 基

産業厚生常任委員会

町道路線の廃止

笹ヶ丘支線及び小赤松1号線で、佐用川及び千種川河川改修事業等により河川管理地内に入るため廃止するものです。

結果 全員賛成原案可決

保育の必要性の認定 に関する条例制定

子ども・子育て支援法が施行されることに伴い、町において保育の必要性を認定する必要性が生じたためのものです。

結果 全員賛成原案可決

保育園条例の一部改正

子ども・子育て支援法が施行されることに伴い、町において保育の実施基準を一部変更する必要がある。

生じたためのものです。
結果 全員賛成原案可決

国民健康保険条例の一部改正
国における産科医療保障制度の見直しによるもので、社会保障審議会医療保険部会が行った産科医療保障掛金の変更による出産育児一時金の改正に伴うものです。
結果 全員賛成原案可決



▲ 町道路線現地調査(川原町下堤防線にて)

第62回臨時会(11/27)

人事院勧告に伴う町職員の給与改定等を主な案件とする臨時会が、庁舎増築工事のため、さよう文化情報センターを仮議場として開催されました。

議決案件

□議会議員の議員報酬及び旅費に関する条例の一部改正

議会議員の期末手当支給月数を〇・15月引き上げました。(平成26年12月1日実施)

反対討論

平岡きぬゑ 議員

議員の期末手当支給月数の〇・15月(4万1250円)引き上げは、人事院勧告に準じた一般職員の給与改定に伴うものだが、一般職員は恒久的な賃金引き下げが来年から予定されている一方で、引き上げは認められない。

□特別職の職員で常勤の者の給与及び旅費に関する条例の一部改正

町長、副町長、教育長の期末手当支給月数を〇・15月引き上げました。(平成26年12月1日実施)

反対討論

金谷英志 議員

職員の給与は、総合的見直しとして恒久的な引き下げを行う一方、町長ら常勤特別職の期末手当の引き上げは公平性を欠くものであり反対する。

□町職員の給与に関する条例及び町一般職の任期付き職員の採用等に関する条例の一部改正

一般職員の給与を次のとおり改正しました。

・平均〇・3%の引き上げ
・初任給2000円の引き上げ
・3級以上の高位号給は改定なし

・通勤手当を100円、4900円の範囲内で引き上げ
(平成26年4月1日にさかのぼって実施)

・給与の総合的見直しにより平均2%引き下げ、50歳代後半層は最大4%程度の引き下げ
(平成27年4月1日実施)

・勤勉手当支給月数を〇・15月の引き上げ
(平成26年12月1日実施)

反対討論

平岡きぬゑ 議員

人事院勧告に準じ今年度の給与を、月給〇・3%、期末・勤勉手当を〇・15月それぞれ引き上げは賛成だが、来年度から平均2%の賃下げなどを内容とする「給与制度の総合的見直し」は、地域経済にも深刻な影響を与え問題だ。

補正予算

□一般会計及び11特別会計並びに水道事業会計補正予算

給与改定を主とするもので、総額2866万2千円を増額しました。

報告

□専決処分の報告

町道を走行中の軽自動車が、道路横断溝蓋を跳ね上げ車輛が損傷したた

承認

□専決処分の承認

一般会計補正予算において、土木費の町道改良事業に係る測量調査設計

め、国家賠償法に基づき修理費の賠償を議決しました。
・賠償額21万3624円

委託料2034万4千円を減額し、総額を131億3109万6千円としました。

これは、町道小山安川線道路改良事業に係る現計予算の一部、測量調査設計委託料を債務負担行為として振替計上し、当該債務負担行為相当額を現年度予算額から減額するものです。



▲ 町道小山安川線道路改良事業地

第62回(11月)臨時会 こんなことが決まりました

議案番号	件名	審議結果
報告第 7号	専決処分の報告（損害賠償の額を定め和解することについて 専決第14号）	「報告」は質疑を行いますか、討論・採決はありません。
承認第 14号	専決処分の承認（平成26年度佐用町一般会計補正予算第3号 専決第15号）	賛成全員 承認
議案第 70号	佐用町議会議員の議員報酬及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例	賛成多数 反対 金谷議員、平岡議員 可決
議案第 71号	佐用町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	賛成多数 反対 金谷議員、平岡議員 可決
議案第 72号	佐用町職員の給与に関する条例及び佐用町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	賛成多数 反対 金谷議員、平岡議員 可決
議案第 73号	平成26年度佐用町一般会計補正予算案（第4号）	賛成全員 可決
議案第 74号	平成26年度佐用町国民健康保険特別会計補正予算案（第1号）	賛成全員 可決
議案第 75号	平成26年度佐用町後期高齢者医療特別会計補正予算案（第1号）	賛成全員 可決
議案第 76号	平成26年度佐用町介護保険特別会計補正予算案（第2号）	賛成全員 可決
議案第 77号	平成26年度佐用町朝霧園特別会計補正予算案（第2号）	賛成全員 可決
議案第 78号	平成26年度佐用町簡易水道事業特別会計補正予算案（第1号）	賛成全員 可決
議案第 79号	平成26年度佐用町特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算案（第2号）	賛成全員 可決
議案第 80号	平成26年度佐用町生活排水処理事業特別会計補正予算案（第1号）	賛成全員 可決
議案第 81号	平成26年度佐用町西はりま天文台公園特別会計補正予算案（第2号）	賛成全員 可決
議案第 82号	平成26年度佐用町笹ヶ丘荘特別会計補正予算案（第1号）	賛成全員 可決
議案第 83号	平成26年度佐用町歯科保健特別会計補正予算案（第1号）	賛成全員 可決
議案第 84号	平成26年度佐用町農業共済事業特別会計補正予算案（第2号）	賛成全員 可決
議案第 85号	平成26年度佐用町水道事業会計補正予算案（第1号）	賛成全員 可決

平成26年度(11月)臨時会補正予算額(歳出)

(単位:千円)

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	23,929	13,155,025
特別会計	国民健康保険	332 2,242,457
	後期高齢者医療	108 317,229
	介護保険	1,501 2,189,090
	朝霧園	681 130,007
	簡易水道事業	302 863,882
	特定環境保全公共下水道事業	611 1,164,127
	生活排水処理事業	235 438,353
	西はりま天文台公園	406 109,059
	笹ヶ丘荘	201 130,925
	歯科保健	110 26,723
	農業共済事業	359 105,007
水道事業(支出)	△ 113	1,288,597

お詫びと訂正

議会だより第34号に記載の誤りがありました。訂正しておわびします。
・9ページの国民健康保険賛成討論の文中
(誤) 3200万円
(正) 320万円

・10ページの25年度主な事業の写真説明文中
(誤) ホタルドームのトップライトをLEDに更新
(正) ホタルドームのトップライトを修繕

佐用町のここが聞きたい!!

7人の議員がまちの将来を たどりました

一般質問とは

一般質問は、議員が町の行政全般にわたって、疑問点をだし、町長・教育長から回答を求めるものです。

事前に質問の要旨を書いた通告書を議長に提出します。

一般質問は年4回開催される定例会で行われ、臨時会では行われません。

※一般質問の記事は、質問をした議員本人の原稿に基づいています。

質 問 議 員	掲載ページ	質 問 通 告 内 容
千種 和英	11	① 本町における情報政策について ② 次世代を担う人材の育成について(進捗状況)
石堂 基	12	① 「地方創生」に対する取り組み方針について ② 佐用町森林活用化計画の着実な実践について
岡本 義次	13	① 検診について ② 町施設の有効活用について ③ オープンスクール
竹内日出夫	14	① 反転授業について ② AEDの適正配置と有効活用について ③ 県道の整備計画について
平岡きぬる	15	① 社会保障制度(国保・介護)の充実について
廣利 一志	16	① 町職員の健康問題、とりわけメンタル・ヘルス(心の健康)について問う
金谷 英志	17	① 「まち・ひと・しごと創生法」への対応は ② 「けんこうの里三日月」は健康増進施設として活用を ③ 学校教育費公費負担の検討はどうなっている

議 会 を 傍 聴 し て み ま せ ん か

議会はどこでも傍聴できます。議員と町長のやり取りを間近でご覧ください。

傍聴を希望される方は、受付で申込カードに住所・氏名・年齢を記入し、受付箱に投入してから傍聴席へお入りください。(P2参照)



情報政策の推進を

町長 — 重要性を認識し、町発展につなげたい



ちくさ かずひで
千種 和英 議員

問 まちづくりにおいての経営資源のひとつである「情報」について、その受発信の価値をどのように認識しているのか。

町長 行政と住民をつなぐ最大のツールであり、町行政、まちづくりを円滑に進める大切な業務だと考えている。情報化社会において情報の発信は住民の故郷への愛着度の形成につながり、その先には地域のイメージを高め、さらに町に「ひと」「もの」「かね」を呼び込み、地域経済を活性化させる大きな影響を及ぼすまちづくりの大きな要素と認識している。

問 それは、町内外十分に受発信できているか。

町長 発信については

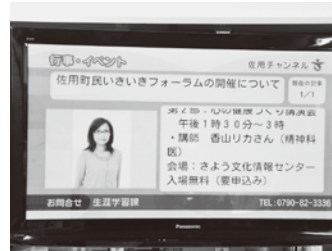
「広報さよう」の紙媒体、ホームページ・フェイスブックのインターネット媒体防災行政無線やケーブルテレビ等のあらゆる媒体を活用し、努力をしている。責任担当部署は広報室であるが、情報の



広報さよう



フェイスブック グツと佐用町!



ケーブルテレビ 佐用チャンネル



インターネット ホームページ

▲ 積極的な情報発信を

選択や作成は各担当課であり、考え方や内容の選別にばらつきがある。今後は連携を強化し、全職員の意識の向上を図り、より効果的な情報発信をしたい。

受信については、国・

企画防災課長

定住促進策

等、県の施策とも連携を取っている。それが廃校施設利用にも



▲ 若手職員との意見交換会

県・近隣自治体の動向や事例についても多くの会議を通じ、たえず情報を収集している。

問 情報政策を活用した活性化、産業育成、人材育成については。

町長 特産品の情報や定住促進の手段として発信していきたい。町だけでなく、町民からの情報発信ツールとして既に整備している情報インフラを活用したい。

問 住民にも情報が十分に伝わっていない課題については。

町長 実感している。施策や行政運営の成果についても、わかりやすく伝える努力をしていきたい。

問 前回9月議会で質問した本件の進捗状況は。

町長 若手団体の活動については報告を受けている。

町若手職員と彼らが交流し、貴重な情報や体験を得、様々な刺激を受け、人材育成につながっている。

次世代を担う人材の育成についての進捗状況は

適用できるか確認を取るなど、積極的に取り組んでいる。

「地方創生」に対する取り組みは！

町長——健康づくりや予防医療にも力を



いしどう もとい
石堂基 議員

問 第二次安倍政権による「地方創生」について

は、本年度中の取り組みが示され補正予算の概要も報じられているが、佐用町としての取り組みは検討しているのか。

町長 11月中旬に説明会

が開催されたが、政策の基本理念や概要説明が行われた程度であった。本町では、これらに先立ち町総合計画や基本計画をベースに想定される事業への取り組みを検討している。

問 国が示している基本

理念では、医療や福祉に対する取り組みが希薄に

感じるが、本町における福祉医療課題は非常に重要である。とりわけ、国保

や後期高齢者医療会計の観点からも急務の取り組みが必要であり、今回の

「地方創生」に取り組むための「総合戦略計画」に積極

的に盛り込む必要があると考え



▲ 幕山地域での健康づくり活動

町長 指摘のとおり佐用町における医療費負担は

増加の傾向にあり、医療関係特別会計に対する一般会計からの繰入金も相当額になり、健全な財政運営が危惧される。これを防ぐためにも、予防医療や住民の健康づくり事業に取り組まなければならないので、今回の「総合戦略計画」に盛り込める内容となれば積極的に進めていきたい。

問 「林業振興」のために森林組合支援がさらに必要

本年度から本格的な

取り組みが始まった「佐用町森林資源活用計画」の中では、一般住民による木材の利用拡大を図るシステムとして、集出荷施設（木材ステーション）が提案されていたが、具体的な検討は進めているのか。

町長 集出荷施設については町有地の活用で考えているが、災害に強い森

づくりや災害対策の観点から、住民の方に参加してもらえる全体システムを検討している。また、これらの管理は、森林組合が適当と考えている。

問 現在の森林組合は、施業計画樹立などでこれまでにない業務量を消化している。新たな取り組みを進めるなら、さらに支援が必要である。



▲ 未利用材の活用促進が課題

町施設有効活用をインターネットで発信せよ

町長 — 努力する

町施設の有効活用について

問 町にはスピカホールや南光の野球場などいいものがいっぱいあるが、年間稼働率が低い。インターネットで情報発信し、宿泊条件によっては無料や割引を行い、施設に宿泊してもらえれば赤字を少なくできる。町外の若者を呼び込み、活性化につなげる考えは。

町長 他市町と比べて料金は安く無料にはできない。笹ヶ丘荘はテクノにサッカー場がで多くの宿泊者がある。インターネットでの呼びかけは大事なことでやっていく。

検診について

問 三日月地域でしていた乳がん検診等が南光にかわり、車の運転ができない方が行けなくなったとよく聞く。なぜ、そうになったか説明がある。



▲ ホタルドーム

マイクロバスかワゴン車を走らせたらどうか。

町長 乳がん検診に医師または歯科医師の配備が必要となり、歯科保健センターのある南光に一本化した。送迎は、検診時間の違いで待ち時間が長くなり利用者が減ったのではない。

問 がんも発見が遅れると国保や介護保険の医療費も高くなり、本人も治療に苦しむ。多くの町民の検診が必要である。

町長 自分の命は自分が守るということで、運転できない方は、さよさよ

サービスや、乗り合い、また家族で送迎してほしい。町内全域を送迎することはできない。

オープンスクール

問 事前に申し込み、参加者と一緒に給食をとったり、ふれあいの場を設けたらどうか。

百マス計算はこの学校も取り組んでいるか。

教育長 給食は20人近くアレルギー対応の食を作っている。食器の数も限られ、事前の調整が必要なため一緒に給食は考えていない。

ふれあいの場は、オープンスクールに限らず、地域の防災教育や、しめ縄作りなど各校で取り組んでいる。

百マス計算も全学校で取り組んでいる。

問 休憩時間に音楽をかけて一緒にフンニグするとか、「ママ回しや竹馬、風揚げなどふれあう場を設けたらどうか。

教育長 特別な時間は設けず、昔の遊びなどは参加者で持ち寄り、そこへ自然にとけこむようにしたい。

問 学校へ行けば必ず図書室へ行き、どれだけ本を読んでいるか見るが、読んでいる子が少ない。一冊でも多く読むように、指導願いたい。



▲ 久崎小学校

おかもと よしつぐ
岡本 義次 議員

反転授業の取り組みは

町長——教育機器の活用や授業の工夫で対応する

問 反転授業とは、授業と宿題の役割を「反転」させる授業形態をいう。

教育長 反転授業は、全

いることが大前提である。現在の教育機器等の活

用をはじめ、各教科

で、端末による教材を活用し、あらかじめ決められた学習内容を学習し、学校の授業で学んだ知識を「使う活動」によって学習能力の向上と総時間量を変革する取り組みといえる。政府は昨年6月にまとめた成長戦略に、2010年代中に児童・生徒に1人1台の情報端末の整備を目指す方針を盛り込んでいる。反転授業に取り組むことについて教育長の所見を問う。



▲ 南光小学校の授業風景

め、各教科での授業展開の工夫改善を進め、子どもたちの学力向上を図りたい。

問 人命救助のため、AEDの適正配置と有効活用を提案する

町長 AEDの普及率は世界一であるが、使用率は低い。使用法を学ぶことによる「頭の準備」と率先して動く「心の準備」が必要である。短時間の講習を多く行っているだろうか。

町長 防災訓練時や消防団などには講習会を何回も行っている。各種団体から希望があれば何度でも行う。

問 人の生命、身体、財産を守ることは、行政も警察も目的は同じである。駐在所への設置を働きか

たけうち ひ で お
竹内日出夫 議員



▲ 駐在所にもAEDを

けてはどうか。

町長 駐在所への配置も含め、効率が良く、すぐに使えるよう警察とも相談のうえ既設のAEDの移設を検討したい。

岡山県境との県道整備計画を問う

問 東中山から美作市宮本に通じる下庄佐用線の整備計画はあるのか。

町長 鳥取道の開通で交通量が非常に少なくなつた。県境部分は、予算が少

ないなかで優先順位が低いとの県の回答である。岡山県側も同じような状況である。

問 皆田から田原に通じる県道は、美作市に拡幅の要請はしているのか。

町長 県境協議会で毎年要請している。岡山県側の集落内の改修ができあがったので、引き続き全面的な二車線は予算上難しいが、待避所の設置や一部改良は引き続き取り組んでいくとの回答を得ている。

社会保障制度の充実を

町長 — 医療窓口負担なしは周知する

問 年金の引き下げ、消費税の増税など、今、町民の暮らしは大変だ。町民が安心して豊かに暮らすために社会保障制度の充実が必要だ。

国民健康保険制度は、社会保障及び国民保健の向上を目的として作られている。「佐用町国保のしおり」に社会保障の文言を明記すること。①窓口負担なしで医療機関の受診ができる町の「要綱」を周知し、利用できる制度にすること。②国保税を軽減するため、医療費の分析や、保健事業の取り組みを強化すること。③国保の広域化は、国保税の引き上げなど住民にとってなんのメリットもないのではないか。町長の見解を問う。

住民課長 「しおり」に社会保障の文言を入れるかどうか検討する。

町長 ①町の広報などで周知する。②保険税を26年度当初予算で8%引き上げたが、所得が伸びず、保険税は予定の3分の1の約600万円になった。



▲ 福崎町の国保のしおりは「社会保障制度としての国民健康保険」と明記している

また、医療費は増加傾向だ。今後、レセプト点検やシエネリック医薬品の活用、予防のための健診の充実に取り組みたい。③国保の都道府県化で、国保税の徴収は町がするが、保険税は県で平準化される。

「朝霧園」老朽化対応を検討

問 特別養護老人ホームの待機者は全国で52万人以上と報じられ、介護は、現役世代の大きな不安要因にもなっている。

また、国民年金で入所できる施設の増設が抑えられている。町の6期介護保険事業計画は、現行制度の改善を求める。①介護保険料・利用料の引き下げ。②町立朝霧園の

施設充実。③町の福祉・保健・公衆衛生機能の充実。

町長 ①特養の待機者は、町内200人余り。介護保険料は、サービス利用が増える増加する。②「朝霧園」は養護老人ホームとして、今後も運営していく。老朽化への対応は検討する。③高齢者の在宅サービスを平成27年度に見直し、健康増進・町食育計画に生かしたい。



ひらおか
平岡きぬる 議員



▲ 町立朝霧園

町職員のメンタルヘルス(心の健康)を問う

町長——現在長期療養者はゼロ

ひろかが かずし
廣利 一志 議員

問 町職員の健康、とりわけメンタルヘルス(心の健康)について、現状認識と対応を答弁願いたい。

町長 水害の影響もあり、平成21、22年に、6人が心の病で長期療養。現在は入院、通院の者はいない。

問 慶応大学の山本勲教授によると、メンタルヘルスでの休職者比率は1%という調査があるが、率直な感想は。

町長 臨時職員も入れると500人の職員がいて、6人の休職者がいたという事なので、当てはまるなと思う。

問 普通に出勤しているが、一部不調者がいるという現実をいかに考えるか。

町長 個人的な問題、家庭の問題もあると思う。判断が難しいところだ。

安全衛生委員会は定期的開催されているが

問 安全衛生委員会では何がテーマで、何がどのように改善されたのか。

町長 毎月月初めに開催し、産業医の職場巡視も行っている。

相談窓口は保健師

問 同じ職場の、さらに同僚である保健師には相談しにくいという声もあるが。

町長 保健師に相談し、医療機関を紹介してもらうといったケースもある。心理カウンセラーに相談を委嘱するなどを考えていくことも検討したい。

問 保健師は、現在6人となっているが、本来の仕事の量、質からいって相談を受けてもらうことは可能なのか。

町長 役場職員が減る中

眠れないのも
食欲がないのも
ミスが増えたのも
人と話したくないのも
・・・「疲れすぎかな」くらいに思っていた
それはうつ病かもしれません
一度ご相談ください
佐用町健康福祉課
・相談窓口は裏面をご覧ください・

▲ 職員への呼びかけカード



▲ 役場各課の朝礼風景

新人事評価制度の
試行・本格実施に
ついて

保健師も例外ではない。
問 保健師全員がメンタルヘルス対応の研修なり、スキルはあるのか。
健康福祉課長 随時研修に参加し、全員で共有するようにしている。保健師が相談窓口だということ、さらに周知を徹底したい。

問 人事評価とメンタルヘルスの問題は密接な関係がある。「心の病」は実は、隠そうとする傾向にあるが所属長と職員との面談を設けるようにしたかどうか。
総務課長 面談は随時行っている。課長会でも徹底したい。

問 異動希望のアンケートを取る予定はないか。
総務課長 27年1月の実施を予定している。

教材費への補助はどうなったか

町長 — 金券を支給する

問 小中学校の教材費への補助を求めた平成24年9月議会の私の質問に、町長は「教材費などは教育と一体的なもので、教育として必要なものについては、公費として負担するというのが基本的考え」との答弁であった。

学校教材費の公費負担の具体化は検討したか。

町長 27年度より小中学校に在籍する児童・生徒全員に就学支援金として、一律の金額を町内商店で利用が可能な金券で支給し、子育て世代への実質的支援とともに、町内の商店の活性化にもつながる方向で準備を進めている。



かなたに えいし
金谷 英志 議員

問 「けんこうの里三日月」のトレーニング場は、三日月支所の空き部屋に移転し充実してはどうか。本庁舎を増築する中で、支所の活用の中から

と、国道や姫新線三日月駅からも近く利便性はよくなるが。

町長 現状は約200㎡の部屋に18種類、29台のトレーニングマシンを設



▲ 三日月小学校6年生の教室

置している。今後は、町内の未利用の施設も含め移設を視野に入れて考える。

問 風呂は温泉でなくても継続し、休息室やトレーニング場は高齢者向けに、マッサージ器などを設置した健康増進施設としてはどうか。

町長 利用者は温泉風呂の効用を目当てに来場している。温泉でなくなると利用者の減少が考えられる。町の健康づくりというところからこの施設をどうするか考えたい。



▲ 「けんこうの里三日月」のトレーニングルーム

組合議会・全議員研修会 行政視察報告

播磨高原広域

事務組合議会

組合議会議員 岡本義次

第4回定例議会開催

平成26年12月12日、県立先端科学技術支援センターにおいて、定例議会が開催されました。

定例会では、教育委員の同意議案、職員の給与に関する条例改正、水道・下水道事業の利益及び資本剰余金の処分等に関する条例制定と、一般会計・上下水道会計の各補正予算の6議案を審議し、すべて原案通り同意・可決されました。

・教育委員

矢木 隆一郎氏

(たつの市教育委員長)

湯本 浩一氏

(たつの市教育委員長)

職務代行者)

全議員研修会

岡本安夫 議員

平成26年11月7日、新

温泉町・夢ホールにおいて兵庫県町議長会主催の研究会在、県下12町の議会議員を対象に開催されました。

講師は、現在「関西情報ネットワーク」や「新生ワイド・すまたん」のニュース解説でおなじみの、日本テレビ系列解説委員の高岡達之氏。「ニュースの裏側から」キー



▲軽快なテンポで話す高岡氏

長泉町の紹介がありました。長泉町は三島市と沼津市の間にある町で、企業誘致は両市に任せて、長泉町は「寝(ね)タウン」すなわち「ベッドタウン」をめざしており、子育て支援や住み心地のよい町づくりの重点を置くことで、人口増加につながっているとのことでした。



行政視察報告

総務委員長 小林裕和

大井川鉄道、北杜市にて

・SLによる地域活性化

・自然エネルギー活用

・学校跡地活用を調査

11月5・6日の2日間、

全議員による行政視察を実施しました。



▲SLの向きを変える転車台

大井川鉄道

大井川鉄道(静岡県)では、地域住民の公共交通の確保、地域資源(産業振興・観光開発)の活用と費用対効果、沿線自治体の支援状況、地域住民への経済効果等を調査目的とし、SL列車を目玉とする鉄道会社の取り組みを視察しました。



▲SLの運行について大井川鉄道担当者から説明を受ける様子(新金谷駅)

運営は、現在の経済状況では苦しいものの、今後、いかに付加価値をつけ、始発駅までの交通アクセスを改善し、地域資源の活用を図るかとのことでした。

姫新線も利用促進協議会を設置し、年間300万人の乗車を目指しています。地域の貴重な公共交通機関を存続・発展させるため、さらに調査を進めます。

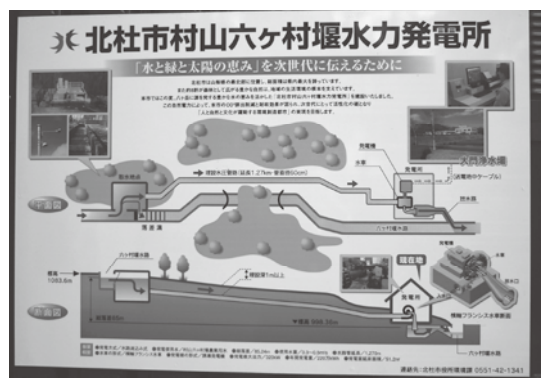
小水力発電

北杜市（山梨県）では、環境にやさしい自然エネルギーの活用として、太陽光をはじめ小水力発電に取り組んでいます。

視察した村山六ヶ村堰水力発電所は、南アルプス（八ヶ岳・甲斐駒ヶ岳等）山麓を背後に、高低差のある地形と豊富な湧水をつまく活用した水力発電所です。



▲村山六ヶ村堰水力発電所取水施設（山梨県北杜市）



▲村山六ヶ村堰水力発電所概要図

新しいエネルギーの開発には、建設費や維持管理コストも相当かかるので、地域の地形や自然条件に適したものを選定することが重要です。

学校跡地活用

同じく北杜市で、学校跡地をレストラン「おいしい学校」に利用している取り組みを視察しました。

学校跡地活用は、平成の大合併後、全国的な課題となっています。その活用は、地域で運営する都市住民との交流施設、宿泊を兼ねた複合施設、農産物の販売拠点施設、福祉施設等と様々ですが、北杜市では、三代校舎（明治・大正・昭和）と銘打ち、郷土資料館、農業体験施設、農産物の販売を



▲学校跡地をレストラン「おいしい学校」として活用（山梨県北杜市）

兼ねた総合交流施設の三部門を指定管理者制度で運営しています。全国各地に同様の施設がある中で、特化したブランドと魅力の開発が大きな力ギのようです。



▲佐用町交通安全事故ゼロ1500日達成の表彰伝達式であいさつをする石黒議長（12/18）



▲施設内で担当者の説明を受ける様子

第1回議会報告会を開催します

平成26年3月に制定した「佐用町議会基本条例」に基づき、議会報告会を開催します。これは、議会のしくみや活動、審議結果を議員から町民のみなさまに報告し、「開かれたわかりやすい議会」を目指すもので、次の4会場で開催します。また、町民のみなさまとの意見交換会の時間も予定していますので、ふるってご参加ください。

開催日時・場所

・報告会は約2時間の予定です

●平成27年2月21日（土）

午後1時30分～ 上月文化会館
午後7時00分～ さよう文化情報センター

●平成27年2月22日（日）

午後1時30分～ 三日月文化センター
午後7時00分～ 南光文化センター

主な内容

- ・議会のしくみについて
- ・平成26年度主要事業について
- ・常任委員会の活動について
- ・意見交換会

お問い合わせ先 佐用町議会事務局 ☎82-0668

表紙写真によせて

みかづきっ子ママプラザ



つかざき じょう こばやし あいき
塚崎 情くん 小林 昂一喜くん
(2歳11ヶ月) (6歳)

議会だよりでは笑顔いっぱいの
子どもたちを紹介します

三日月保育園とママプラザの交流会で、愛想たっぷりの笑顔でみんなを和ませてくれていたのは塚崎情くん(三日月)。

この日も、仲良しの小林昂一喜くん(乃井野)に遊んでもらって最高の笑顔です。

『情くん』の名前は、お父さんの『純』さんとお母さん『愛』さんの文字がつながるようにと付けただとのこと。そんなお父さんの影響か、鉄道が大好きで、アニメよりもNHKの鉄道番組を見る

徹底ぶり。

友達ができるか心配だと言うお母さんですが、最近は一人大お風呂に入ろうとしたり、歯磨きができるようになった息子の成長ぶりを見るのがうれしとのこと。

『お父さんのようにどんな場所でも、どんな時でも、周りのみんなを笑顔にできる、強い人になってもいい』と、幸せいっぱい笑顔で答えていただきました。

加古原瑞樹

編集後記

昨年の流行語大賞は「集団的自衛権」と「ダメよく、ダメ、ダメ」でした。さらに漢字一文字では「税」でした。

今年はどんな年になるでしょうか。佐用町議会では、議会改革の一環として「議会報告会」を開催します。初めての試みですが、多数のご参加をお願いします。

岡本安夫

議会広報特別委員会

委員長 岡本 安夫
副委員長 千種 和英
委員 加古原瑞樹
委員 小林 裕和
委員 廣利 一志
委員 竹内日出夫

3月定例会の予定

- 3月
- 4(水) 本会議(議案上程)
 - 5(木) 予算特別委員会
 - 6(金) 予算特別委員会
 - 9(月) 本会議(一般質問)
 - 11(水) 本会議(一般質問)
 - 12(木) 本会議(一般質問)
 - 13(金) 本会議(質疑)
 - 16(月) 総務常任委員会
 - 17(火) 産業厚生常任委員会
 - 25(水) 本会議(討論・採決)
- ※一般質問の模様は佐用チャンネルで放映します。